

和コンピューターは昨年度に書店向けのレジ・バッカード、外商システムや、出版社向けの販売管理・電子書籍管理・資材原価管理システムなどについてIT補助金の登録実績がある。事業者の採択実績は62・5%だつた。

同社では、事業者の申請業務について、外部コントラクトを紹介するなどサポートしていく。同社IT導入補助金支援サイトで詳細を記している。

ア 購入費、クラウド利用費（最大2年分補助）、導入関連費なども含む。

される。

「通常枠A類型」は1件あたり補助金2分の1以内30万～150万円未満、「通常枠B類型」は同2分の1以内で150万～450万円以下、かつ賃上目標が必須条件。「デジタル化基盤導入類型」は会計・受発注・決済・ECソフトの導入

利用料は2年分まとめて補助、③パソコン・タブレット・レジなどを補助の対象に加え、④複数社連携IT導入類型を新設した。

補助金には「通常枠」「デジタル化基盤導入類型」「複数社連携IT導入類型」の3種がある。回は①会計・受発注・決済・ECソフトの補助率

は4分の3以内で5～50万円以下、2機能以上は3分の2内で50～35万円以下。ソフトウェア費、導入関連費に適用

# 経産省IT導入補助 金支援業者に採択

コンターコーヒー  
和光ピ

光和コンピューターがERPシステム」「販売管理（取次・直販）システム」などを順次登録し、IT導入支援事業費補助金「サービス等生産向上IT導入支援事業費補助金」の支援業者に採択された。

度への対応も見据えて、中小企業間取引のデジタル化を推進するもの。今は①会計・受発注・決済・ECソフトの補助率22%は、インボイス制を引き上げ、②クラウド型「KPOS」「同セルフ」ほか、出版社300社以上が導入するテインプレート型「出版

同社では、書店向け

ジンシステム「KPOS」「同セルフ」ほか、出版

のIT導入補助金20